

# 財政公益審査会議 事業計画

財政公益審査会議 議長 高野 翔

近年会員数の減少に伴いメンバーの会費収入も減少している中で、地域を牽引する組織として効果的な事業を行う責務があるのと同時に、社会情勢や時代の変化に柔軟に適応する必要があり、時代に即した組織改善を進めていくことが求められています。先行きが不透明な時代の中、公益社団法人として公益比率やコンプライアンスを守りながら貴重な財源を活用するとともに、変化に強い柔軟性や信頼性の高い財務管理を行う必要があります。

まずは、健全な財務運営を行うために、公益比率を確保し、費用対効果や相対支出を意識した予算書及び決算書を作成してメンバーに開示することで、透明性のある組織基盤が確立されます。そして、我々の財源となっている会費や寄付金、行政からの補助金を効果的に活用するために、費用対効果に重点を置いた財政公益審査会議を開催することで、健全で堅実な財務体質が醸成されます。さらに、メンバーの予算使用に対する意識を高め、適切な使途をサポートするために、事業構築段階において積極的に会議体や委員会へ参加して、密な情報共有と意思疎通を図っていくことで、適正かつ健全性のある財務管理が実現されます。また、公益社団法人として地域から信頼される組織であり続けるために、メンバーが公益法人制度やコンプライアンスなどの基礎的な知識を学ぶだけでなく、我々の存在意義や責任を自覚することで、自主的な統制の効いた組織となります。そして、会費収入の減少の中で質の高い効果的な事業の構築をするために、外部資金を受け入れる柔軟な体制と仕組みづくりをすることで、変化に強い柔軟性のある財務管理が可能となります。

メンバー一人ひとりの貴重な財源やコンプライアンスに対する意識の変化は、公益社団法人としての信頼をより一層高め、時代の流れや変化に柔軟に適応できる財務運営を実現した我々は、これからも永続的に地域を牽引することができる持続可能な組織となります。

## <事業計画>

1. 適正な予算書及び決算書の作成
2. 財政公益審査会議の開催
3. 各会議体委員会に寄り添った恒常的なサポート
4. 信頼される組織となるための事業の実施
5. 外部資金の積極的活用